

2026 年 10 月 1 日

各 位

株式会社MROラジオ
株式会社エフエム石川

ラジオ放送事業の協業に向けた検討の開始について

株式会社MROラジオ（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：島田 喜広／2027 年 4 月 1 日に北陸放送株式会社よりラジオ放送事業を承継し事業を開始する予定の分割準備会社、以下「MROラジオ」といいます）と株式会社エフエム石川（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：築田 和夫、以下「エフエム石川」といいます）は、石川県におけるラジオ放送事業の将来を見据え、持続可能な事業運営と地域社会への貢献を目指し、協業の可能性について検討（以下「本検討」といいます）を開始することに合意いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本検討開始の背景と狙い

近年、音声コンテンツのデジタル化や情報接点の多様化など、ラジオ放送を取り巻く環境は急速に変化しております。こうした変化のなかで、石川県域をカバーするラジオ放送の担い手として、将来にわたって安定した情報インフラと魅力あるコンテンツを届け続けることが、両社の共通課題となっております。

こうした状況のもと、MROラジオの親会社である北陸放送株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：島田 喜広、以下「北陸放送」といいます）とエフエム石川は、技術面での協力体制を段階的に進めてまいりました。これまでの北陸放送とエフエム石川による技術協力をさらに一歩進め、それぞれが培ってきた放送ノウハウや経営資源を活かし合うことで、変化するメディア環境に対応した強固なラジオ放送事業基盤の確立と地域メディアとしての更なる価値向上を図るべく、北陸放送からラジオ放送事業を承継するMROラジオとエフエム石川は、協業の可能性について本格的な協議・検討を進めることといたしました。

2. 主な検討事項

MROラジオとエフエム石川の特性や強みを尊重しつつ、石川県内のリスナーおよび地域社会への還元を目指し、北陸放送とエフエム石川による既存の技術協力体制も踏まえ、番組制作、防災・災害報道、営業・マーケティングに至るまで、ラジオ放送事業全般における包括的な協業の可能性について段階的に協議を行ってまいります。

3. 今後の見通し

具体的な協業の形態や実施時期等について、現時点で決定した事実はありません。今後、両社による協議体を設置し、段階的に検討を進めてまいります。具体的な取り組みや進捗につきましては、公表すべき事項が決まり次第、速やかにお知らせいたします。

両社は本検討を通じて、石川県におけるラジオ文化の維持・振興と、県民の皆様の安心・安全な暮らしに寄与する情報発信の充実に努めてまいります。